

第2分科会

「中等教育向け日本語リソース『カ-CHIKARA-』の開発過程と内容構成」

国際交流基金日本語国際センター専任講師

2005-2008 国際交流基金ロンドン事務所日本語教育チーフアドバイザー

来嶋洋美 Hiromi_Kijima@jpf.go.jp

I. 『カ-CHIKARA-』リソース

- ・ 中等教育のための日本語教育リソース (英国 GCSE 試験シラバスが土台)
- ・ 教師用参考資料と教材 ・ Website 上で無料ダウンロードができる
<http://www.jpf.org.uk/language/teaching_chikara.php>

1. リソースの全体構成

- (1) 教師用 GCSE 参考資料
 - ・ 文型リスト
 - ・ 語いリスト (あいうえお順、品詞別、トピック別)
- (2) シラバス 「わたし」「学校」「町」「日本」
- (3) 教材: 「わたし」「学校」「町」全 59 サブトピック
- (4) 教材: 「日本」7 サブトピック

《『カ-CHIKARA-』リソースのトピック・学習目的・文型レベル》

「カ」のトピック名	GCSE トピック	学習目的	文型レベル*
わたし・家族・家での生活 Myself, Family & Home life	House, home & daily life	-日本語の文型・文法練習 -コミュニケーションのために 日本語を使う練習	A~B レベル 及び C レベル (一部)
学校生活 School Life & Routines	Education, training & employment		
町・社会生活 Town & Social Life	Social activities, fitness & health		
日本の生活文化 Life and Culture in Japan	Media, entertainment & youth culture	-日本語の文型・文法練習 -読解練習	A~C レベル
	In the UK & abroad	-日本事情・文化の知識	

『読む力』

文型レベル* は「GCSE 文型リスト JFLLC 版」による。(A:もっとも基本的 B:基本的 C: やや難しい)

2. 開発プロセス

- (1) 現状調査 (学校現場の実践について)
- (2) 基礎資料作成 (文型リストなど)
- (3) シラバス作成
- (4) 教材作成 I (紙媒体のもの: モデルテキスト、文型練習、コミュニケーション練習)

- (5) 試用 → テキストと練習問題の試用と修正
- (6) 教材作成Ⅱ（音声とICT）
- (7) Webにアップ

Ⅱ. 教材リソース「わたし」「学校」「町」

1. シラバス ‘トピックシラバスに構造シラバスの良さを加えられるか’

- (1) 作業：GCSE 試験シラバスのトピックと文法を組合せ、配列し、必要な項目を加える
- (2) 目的：教材作成の基礎資料とするため

各校教師にとっては授業計画やカリキュラム作成の参考にするため

- (3) 構成：サブトピック、文型、モデルテキスト例、語い・表現の例、コミュニケーション目標

《トピック内の文型配列イメージ》

- (4) 作成上の課題だったこと

- ①文型と話題の組み合わせ
- ②文型の難度づけ
- ③文型の配列 1：トピック内の関係

サブトピック	文 型	
1	A A A	↓ 易 ↓ 難
↓	A A A B	
	A C A	
	A A B B	
	B B B A	
	B B B	
	B B B B	
20		

- ④文型の配列 2：3つのトピック間の関係

- ・各校独自のカリキュラムを補完するモジュール型教材としての使いやすさ
- ・同じ文型を使った別のトピックで、場面と語彙をかえた指導（応用力）

→トピックが異なっても、文型の配列やサブトピック毎の組み合わせを同じように。

《同じ文型を異なるトピックで学習できる例 1》「～は～A/AN です」 語彙の拡大

わたし:M3 家族	学校:S3 持ち物	町:T5 好きな料理
ぼくの母は、やさしいです。	ぼくのノートは大きいです。	カレーはからいです。
父とそふは、とても元気です。	私のノートはきれいです。	カレーはとてもおいしいです。

《同じ文型を異なるトピックで学習できる例 2》 存在文 場面の応用

学校: S11 学校の中	町: T7 デパートの中
<ul style="list-style-type: none"> ・～は～にあります/います ・～に～があります/います 	<ul style="list-style-type: none"> ・～は～にあります/います ・～の(位置)
<p>図書室はどこにありますか。 2階にあります。トイレのとなりにあります。 ビクトリアはどこにいますか。 教室にいます。ドアの前にいます。</p>	<p>テニスのくつは、何階にありますか。 7階にあります。 テニスのくつは、どこにありますか。 エスカレーターの前にあります。</p>

2. シラバスの教材化

各トピックのサブトピック 20 のうち、
約半数ずつ（合計 33 サブトピック）

《教材化したサブトピック》

わたし	学校	町
M1~M13		T3~T8
	S11~S20	T14~T17

3. 『カ-CHIKARA-』 「わたし」「学校」「町」教材の内容と目的／使い方

教材		内容	使用目的／使い方
モデルテキスト		-モノログ：書き方のモデル -ダイアログ：会話のモデル -音声ファイルあり	-サブトピックの会話と文型を導入する -聴解練習のスク립トとして使用する
練習1 (文型練習)	ワークシート	-文型・文法の練習問題	-日本語の文型を正しく理解する -授業や宿題として使用する
	ICT	-活用練習 -語順練習 -文法クイズ -単語クイズ -編集ツール： Hot Potatoes	-文型・文法の基本を練習する -練習1(ワークシート)の予習や復習として補完的に使用する
練習2 (コミュニケーション練習)	ワークシート	-「話す」「書く」コミュニケーション的な活動 -ペア/グループ/各自で活動するためのワークシート -指示の文は英語	-日本語をコミュニケーション的な場面、状況で話すことや書くことを練習する -教師の指示のもと、授業で使用する
	ICT	-会話文再構成（並び替え） -編集ツール： Hot Potatoes	-練習2(ワークシート)の準備として、補完的に使用する
音声		-モデルテキスト1 (モノログ) 1回録音 -モデルテキスト2 (ダイアログ) 2回録音	-モデルテキストを聞く -モデルテキストの練習をする -聴解練習をする

初級の授業の流れに沿った構成 + 学習目的にあった教材の種類と提示形式（メディア）

- ・導入（学習目標、学習内容の提示） プリント、音声
- ・基本練習（文型の学習） ワークシート、ICT
- ・応用練習（コミュニケーション的な運用練習）ワークシート、音声、ICT

Ⅲ. 教材リソース「日本」(『読む力-CHIKARA for Reading』)

1. 開発プロセス

- (1) Web 等でリサーチをしながら、トピック「日本」のサブトピックを考える
- (2) 読解授業での活動とそれに必要な教材の種類を考える
- (3) 教材シラバスを書く
- (4) 教材を書く(本文、理解問題、漢字・語い問題、文型練習、教師用参考資料)

2. シラバスとサブトピック

- (1) 構成：サブトピック、文型、キーワード、日本文化事情の項目、発展課題の教師用情報、本文の写真と参考資料
- (2) サブトピック

J1 ホームステイ Homestay	J5 日本のロボット Robot
J2 日本人のお祝い Celebrations	J6 東京 Tokyo
J3 きもの Kimono	J7 じしん Earthquake
J4 きせつとはいく Haiku	

3. 『読む力-CHIKARA for READING-』「日本」教材の構成・内容・使い方

構成	内容	使い方の例
読む前に	-サブトピックに関連した質問	-本文を読む前に、クラスでそのサブトピックについて知っていることを話す。
キーワード	-本文のキーワード(ひらがな、漢字) -意味の欄は空白にしてある。 -漢字は GCSE、GCE にないものも参考として書いてある。	-キーワードを見て本文の内容を推測する。 -ことばの意味を調べて書き込む。
文型	-本文にある重要文型	-練習する文型を確認する。
本文	-テーマは日本の生活と文化。 -GCSE 漢字はルビなし、GCE 漢字はルビ付で表記。ただし、語の一部だけを漢字で表記することはできるだけ避けた。 -文型は A, B, C レベル使用。(JFLC 版 GCSE 文型リストによる分類)	-授業で教師の指導のもとに使う。 -短い段落がいくつもある場合は、グループで分担して読んでもよい。
本文のりかい	-本文の理解をチェックする問題。正誤式と記述式。 -表記は GCSE 漢字のみ使用。 -解答例あり。	-授業で教師の指導のもとに使う。 -正誤問題で全体的な理解を確認する。その後、記述問題で精読を行う。

漢字とことば	-GCSE 漢字（読み、書き、意味）と語いの問題 -解答例あり。	-授業、予習、復習に。 -この部分だけで GCSE 総復習に。
ぶんけい	-文型練習問題。 -GCSE 文型 C レベル中心だが、GCE (AS) と重なる項目が多い。 -問題文は、本文テーマと関連させたものが多い。 -表記は GCSE 漢字のみ使用。 -解答例あり。	-授業で教師の指導のもとに使う。
発展課題	-本文のテーマをもう少し深めた学習のためのアイデアと、教師用情報。	-日本の生活と文化についての学習を深める教室活動や課題を考える際に、教師が参考資料として使う。 (J 7 以外)
答え	-「本文のりかい」、「漢字とことば」、「ぶんけい」の解答例	-各練習問題の答えを確認する。
音声	-本文を朗読した音声のファイル。	-聴解練習に使用する。 -ルビのついていない漢字(GCSE 漢字)の読みかたをチェックする。 -読む速度をあげるために使う。(特に読むのが遅い学習者)

.....

<『カ-CHIKARA-』作成にあたって参考にした国際交流基金の日本語教育リソース>

- ①「みんなの教材サイト」(<http://minnanokyozai.jp/>)
- ②「日本語教育通信」<http://www.jpf.go.jp/japanese/survey/tsushin/>
- ③ 中等教育向き素材集「教科書を作ろう」(せつめいへん、れんしゅうへん1・2)
- ④「日本語教育用写真パネルバンク」
- ⑤「エリンが挑戦！日本語できます。」

<参考文献>

来嶋洋美、村田春文（2008）「英国中等教育向け日本語リソースプロジェクト」『国際交流基金 日本語教育紀要』第4号 国際交流基金 pp103-114

来嶋洋美、田中真寿美（2008）「中等教育における日本語教育を支援するトピック別リソース --英国の日本語リソース「カ-CHIKARA-」の内容・構成--」2008 年度日本語教育学会 秋季大会予稿集 pp189-190

来嶋洋美（2008）「試験シラバスから教材シラバスをつくる-GCSE 日本語リソース「カ-CHIKARA-」のシラバス開発」ヨーロッパ日本語教育 12